



泗水小だより

学校教育目標「自ら考え なかまと高め合う 泗水小」



泗水小学校
学校だより No13
文責 芹川博文
7月14日(金)

「先生、牛乳が飲めました」

～ 一人一人の「物語」を大切に ～

先週の昼休みの出来事です。階段を降りていると、2年生の児童が、「校長先生、牛乳が飲めました！」と、すれ違いざまに教えてくれました。



次の日、教室の前で「インタビュー」をしました。その児童は、「牛乳が苦手で、それまでは残すか最初から飲まないかのどちらかだったこと。家で何回か練習したこと。お母さんが『すごいね。』と褒めてくれたこと」などを話してくれました。

加えて印象的だったことは、「昨日は初めて飲めたの？」と尋ねた時、一緒に集まっていた数名の他の児童が、「2回目だよ。この前、担任の先生がいなかった時にも飲めたもん。」と答えたことです。周りの児童がその子の頑張りを知っていました。

私は、「明日も飲めたら、また教えてください。」と伝えました。それから毎日、昼休みに校長室をノックして、「今日も飲めました。」と報告してくれます。その表情が何とも誇らしげで、私まで嬉しくなります。

あと1週間で夏休みになります。4月からの約3か月、一人一人が違う経験をし、小さなことかもしれませんが、その子にとって自信となる「物語」が生まれたことでしょう。例えば・・・

- ・九九が言えるようになった。
- ・セミをつかめるようになった。
- ・転んでも泣かないようになった。
- ・一人で学校に行けるようになった。等々

他の人からすれば「なーんだ」と思う小さなことかもしれませんが、その子にとっては大きな成長です。その成長である「変わり目」に立ち会えることは、教師として、この上ない幸せでもあります。



夏休みを前に、ご家庭でも、お子様の「物語」を振り返っていただき、成長や変わり目を味わうひと時を持たれてはいかがでしょうか。

牛乳を飲めるようになったその児童は、時間内に食べ終わることに挑戦しているそうです。

没頭する「授業」を目指して

～ 5年生国語 第1回研究授業から ～



大勢の先生方の目が注がれる中、担任の成松教諭と5年2組の子どもたちは生き生きと、そして真剣に国語の学習を展開しました。

6月28日(水)、第1回目の大研を行いました。大研とは、泗水小全ての先生が参観する研究授業で、その日の放課後、「どうしたら子どもたちがワクワクし、力のつく学びになるか」等について活発に意見交換しました。今年度は特に、「読解力の向上」「考えを伝え合う場の設定」などについて研究します。

全ての児童、特に苦手意識を持つ児童が、学ぶ楽しさを味わい、「明日も楽しみ」という学校づくりを目指します。

「遊び力」は、生きる力の源流

～ 朝も昼も大賑わいのグラウンドと園庭 ～



泗水小児童の潜在能力の高さを感じる一つが、「遊び力」です。とにかく体を動かして遊ぶ子が多い。朝のグラウンドではいたるところでサッカーが始まっています。時間になり引き上げてくる彼らの顔は、水をかぶったような汗と、満足感で光り輝いています。加えてあいさつの声も常に大きいです。(上の写真)

また、園庭では、ブランコやシーソー、鉄棒などで下級生が思い思いに遊んでいます。(右の写真)

本気で遊ぶ力は、大袈裟かもしれませんが、「生きる力」の源流だと感じます。

